

平成 28 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 教育学部

フリガナ イハシ ナホ
氏名 石橋 尚子

研究期間 平成 28 年度

研究課題名 幼稚園における長時間預かり保育の実施に関する研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	石橋 尚子	教育学部・附属幼稚園	教授(園長)
研究分担者	飯田 恵	附属幼稚園	教頭
研究分担者	早川 雅子	附属幼稚園	教諭

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

2015 年 4 月の椋山女学園大学附属保育園(0・1・2 歳児用乳児専門保育園)にともない、本年(2016 年)4 月より、附属保育園から卒園児を迎えるに当たり、預かり保育時間を早朝(7:30～9:00)・夕刻(14:00～19:30)ともに延長して、保育園と同様の 12 時間保育を保障している。このような経緯を経て、時間的な保障は行っているものの、幼稚園としてのコア保育時間 5 時間(9:00～14:00)よりも長い預かり保育時間 7 時間の保育内容の充実については、模索中である。合わせて、人的・物的環境の整備も緊急の課題である。

そこで、「預かり保育」を行っている国内の幼稚園に取材し、その保育内容・実施方法等について資料を収集するとともに、預かり保育担当パート職員 10 名へのヒアリング並びに保護者へのアンケート調査等を通して、質量ともに充実した長時間預かり保育の実施を目指したい。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

- ①愛知県内並びに名古屋市内の幼稚園における「預かり保育」の実施状況の把握。
 - ②国内の「預かり保育」を実施している幼稚園への訪問・聞き取り調査。
 - ・神奈川県川崎市 学校法人田園学園：宮崎台幼稚園
 - ・東京都 学校法人二階堂学園：日本女子体育大学附属みどり幼稚園
 - ③預かり保育担当パート職員 10 名へのヒアリング。
 - ④預かり保育利用保護者へのアンケート調査並びに聞き取り調査。
 - ・椋山女学園大学附属幼稚園在園中の園児 260 名(年長 90 名：年中 90 名：年少 80 名)の保護者を対象に、アンケート調査を実施。可能な範囲で送迎時に聞き取り調査を併用。
- 上記 4 つの調査・分析を踏まえ、長時間預かり保育の問題点・課題等を明らかにするとともに、その充実方法について検討する。その結果をもとに、次年度以降の保育実践計画案を作成する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

①愛知県内並びに名古屋市内の幼稚園における「預かり保育」の実施状況について：各園が配布している入園案内等の入手並びにホームページ上の情報収集に努めたが、実施状況の十分な把握には至らなかった。訪問して聞き取り調査をする必要性を感じた。継続課題としたい。

②国内の「預かり保育」を実施している幼稚園への訪問・聞き取り調査結果：【宮崎台幼稚園について】園児数440名以上の大規模園。預かり保育は「月極め」「日割り」の2種類。保育は専任教諭5名によるシフト制で、3名体制。保育時間と利用者は、早朝(7:30～8:30)15名程度、夕刻(14:00～18:30)30名程度。預かり保育に適應できる体力、生活習慣、園生活への慣れ等の有無により、預かり保育の受諾を判断。【日本女子体育大学附属みどり幼稚園について】園児数280名。待機児童の多い東京都では、その対策として預かり保育に補助金を出しているため、補助金有りクラス(45名の定員制)と無しクラスがあり1年間固定、預かり保育料にも差がある。保育時間は早朝(7:30～9:00)と夕刻(14:30～18:30)。専任教諭5名と日女体バト生2名で運営。

③預かり保育担当パート職員10名へのヒアリング調査結果：受け入れ時の混雑、アレルギー児への個別対応、災害時の避難誘導の困難性など、利用者数の多さに苦慮している。多目的ルームとランチルームは保育室としては適切であるが、トイレがないことが最大の難点。保育時間中の怪我や病気について担任教諭に代わって保護者に伝える時に、連携不足を感じる場合がある。年に2回程度はスタッフ会議をして相互理解を深めるとともに、保育観や内容のすり合わせをしたい。

④預かり保育利用保護者へのアンケート調査並びに聞き取り調査結果：全園児9割近くが利用。その内ほぼ毎日の利用者が3分の1。利用時間帯は保育後3時間以内が最多。利用時間と料金に対しての満足度は高いが、利用者数の多さには苦情有り。利用者の増加傾向(本年100名を超える日が複数発生)と一定時間帯への利用状況の集中から、子どもの心身の安心感・安全性が危ぶまれている。定員制の導入など、利用者数の制限を中心とした保育環境の整備が急務。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①長時間預かり保育	②預かり保育時間	③受け入れ人数	④職員体制
⑤利用保護者の意見	⑥担当職員の意見	⑦定員制	⑧保育環境の整備

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

今後も、本園と同様の長時間預かり保育を実施している幼稚園を訪問し、実施状況の把握に努めたい。本園と共通する課題、もしくは本園特有の課題を明確にし、その改善方法を検討するとともに、預かり保育に関する本園のあり方を提案したい。本年度からの研究成果を含み、次年度の教育学研究紀要に投稿し、広く助言と指導を仰ぎたいと考える。